

## 新型コロナ

相模原市

# 障害者事業所で感染

## 厚労省 防止策の徹底など要請

新型コロナウイルス 相模原市の障害者福祉  
 感染症が拡大し、一部 事業所で、20代と60代  
 地域でクラスター（小 の男性職員と利用者3  
 規模患者集団）が発生 人（男性2人、女性1  
 する事態になった。 人）の感染が確認され  
 福祉施設では2日、 た。感染経路は不明だ  
 が、2月27日に陽性と 診断された20代の男性  
 職員から院内感染した 疑いが持たれている。  
 利用者に発熱などの症 状は出ておらず、職員  
 を含め全員が自宅療養 している。  
 市は、事業所の利用 者及び濃厚接触者が限  
 られていることから、 事業所名や利用者の年

齢などを明らかにして いない。  
 感染拡大を受け、厚 生労働省は2月27日以 降相次いで事務連絡を 出し、感染防止対策の 徹底や学校の臨時休業 に関連した福祉施設の 対応などを要請した。  
 「施設が提供するサー ビスは利用者や家族の 生活を継続する上で欠 かせない」とし、十分な 感染防止対策を前提に サービスを継続的に提 供するよう求めた。  
 特別支援学校の児童 ・生徒が利用する放課 後等デイサービスにつ いては、開所時間を可 能な限り長時間とし、 受け入れに際しては体 温計測し、発熱がある 場合は利用を断るとし た。また、感染を恐れ る児童生徒に居室など で同様のサービスを行 った場合、報酬対象に するとした。  
 感染拡大防止では、

医師・看護師の配置が 対応型共同生活介護事 業所における対応とし て、事前に協力医療機 関と連携するなどの対 策徹底を求めた。  
 料老人ホームや認知症 （井口拓治）